

平成28年度全国学力・学習状況調査について

去る4月19日に行いました全国学力・学習状況調査につきまして、学校だよりでも簡単に結果についてお知らせしたところですが、改めて結果分析を行いましたので、お知らせいたします。学校としても、今後の指導に向けて改善事項を明らかにし取り組んでまいります。どうかご家庭でも参考にいただき、お子様の学力の伸長につなげていただければ幸いです。

◎全体的に

今年度の結果は、国語A・国語B・算数Bにおいては三重県平均、全国平均を4ポイントから7ポイントほど上回っていました。算数Aは全国平均とほぼ同じでしたが、三重県平均より0.8ポイント下回っていました。全体に無回答による空欄は三重県平均、全国平均よりも少なく最後まであきらめずに解答を書こうと努力した児童の姿が伺われます。

児童質問の結果の中で、依然として1日のテレビ・ビデオ・DVD等の視聴時間やテレビゲームの時間が、三重県平均・全国平均より多いのが気になります。また、普段の日の勉強時間や土曜日や日曜日の勉強時間も少ないのも気になります。

●児童質問用紙の結果から

◇朝食を毎日食べている割合は、本校95.9%，県・全国は、95.6%でした。食べていないという児童は、本校4.1%，県・全国は、4.2%でした。6年生の児童73名の中には朝食を食べてこない児童が3名いることになります。1日のエネルギーの源なる朝食をしっかり取って登校してほしいと思います。

◇同じ時刻に寝ている割合は、本校86.3%，県・全国は、80.2%でした。同じ時刻に寝ていない児童が、13.7%で73名中10人の児童が日によって寝る時間がまちまちであることが分かりました。規則正しい生活に心掛けてほしいと思います。

◆難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する割合は、本校65.7%，県・全国は、76.8%でした。また、自分にはよいところがあるかの割合は、本校74%，県・全国は75.9%でした。自分に自信のない児童が多いように思います。もっと児童が主体的に行う活動を増やし、達成感や充実感を持つようにしていく必要があると思います。また、学校や家庭において子どもたちを褒めたり、認めたりする言葉がけをもっともっと増やしていくことが大切であるように思います。

◆テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしている時間は、4時間以上、3時間を合わせると、本校46.6%，県・全国は、32.6%でした。また、テレビゲームを2時間以上している割合は、本校35.6%，県30.7%，全国29.7%で、県・全国より5%も多いです。家に帰ってからテレビや・DVDを見る時間・ゲームをする時間がとても多いことが伺えます。宿題や自主勉強する時間、睡眠時間が少なくなる原因にもなります。テレビを見る時間やゲームの時間を決めて、勉強時間や睡眠時間を増やしてほしいと思います。

◆携帯電話・スマートフォンの使用時間も、30時間以上使っている割合は、本校35.5%，県32.2%，全国30.4%，と多いです。家に帰ってからの生活を見直す必要があるように思います。ご家庭で、携帯やスマートフォンの使用時間についてのルールを決めて、児童が長時間携帯やスマートフォンを触ることのないようにしていく必要があると思います。学校においても、時間を大切に使う指導などを行っていききたいと思います。

◆1日の勉強時間の割合は、3時間以上、本校1.4%，県8.3%，全国10.8%，2時間以上3時間より少ない、本校12.3%，県15.4%，全国14.7%，1時間以上2時間より少ない、本校28.8%，県36.7%，全国37%，30分以上1時間より少ない、本校37%，県27.5%，全国25.4%，30分より少ない、本校15.1%，県9.4%，

全国 8.9%, 全くしない 本校 5.5%, 県 2.5%, 全国 3%, 気になるのは、30分より少ない、全くしない児童が合わせて 20.6% (73名中 15名) と多いです。来年は中学生です。3年後には進路が待っています。今から家庭学習の習慣をしっかりとつけていきましょう。玉城町では、「家庭学習のてびき」の中に、各学年の宿題の時間が決められています。その時間をしっかりと守るよう学校と家庭が連携して取り組む必要があると思います。

◆土曜日や日曜など学校が休みの日に1日どれぐらいの時間、勉強しているかの割合は、4時間以上、本校 0%, 県 4.7%, 全国 6.7%, 3時間以上、本校 0%, 県 4.1%, 全国 5%, 2時間以上、本校 2.7%, 県 10.3%, 全国 12.5%, 1時間以上、本校 43.8%, 県 29.9%, 全国 32.8%, 1時間より少ない、本校 34.2%, 県 38.2%, 全国 33.2.8%, 全くしない、本校 19.2%, 県 12.6%, 全国 10.2%, 本校の児童は休みの日に勉強する時間が大変少ないという事が言えます。休みの日にスポーツ少年団等の試合などがあり、勉強する時間がないことも考えられますが、それにしても少ないように思います。宿題が無くても、勉強する時間を作って家庭学習（自主勉強）をしていきましょう。

◆学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、読書をしているか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）の割合は、30分以上、本校 28.8%, 県 34.4%、全国 36.5%, 全くしない、本校 19.2%, 県 21.3%, 全国 20.6%, 県や全国に比べると読書の時間は少ないように思いますが、全く読まないという人が少ないことも分かりました。本にもっと親しむことができるように、学校でも指導していききたいと思います。また、読書の時間を作るなど、ご家庭でも工夫していただきますようお願いいたします。本校だけではなく三重県・全国と年々読書の時間が減ってきている傾向にあります。

◇家の人と学校での出来事について話す割合は、本校 82.2%, 県 78.2%, 全国 79.2%, 県や全国と比べると本校の児童は家で学校での出来事を話していることが分かります。ただ、17.8% (73名中 13名) の児童が家の人に学校での出来事を話していないのが気になります。

◇家の手伝いをしている割合は、本校 86.3%, 県 82.5%、全国 82.8%, 県や全国と比べると、本校の児童は家の手伝いをしている児童が少しですが多いことが分かります。ぜひこのまま続けてほしいと思います。

◆家で、自分で計画を立てて勉強をしている割合は、本校 46.5%, 県 61.7%, 全国 62.2%, 県、全国に比べると計画を立てて勉強している児童が少ないことが伺えます。学校でも指導していきますが、家庭でも話合いを持っていただき計画を立てて勉強するように声かけをお願いします。

◆学校の授業の予習をしている割合は、本校 30.1%, 県 44.2%, 全国 43.3%, 復習をしている割合は、本校 47.9%, 県 54.2%, 全国 55.2%, 県や全校に比べて予習・復習をしていない児童が多いことが分かりました。家庭学習のやり方や内容について検討していききたいと思います。

◆学校に行くのが楽しいと思う割合は、そう思う、本校 46.6%, 県 55.8%, 全国 55.2%, どちらかと言えばそう思う、本校 34.2%, 県 31.1%, 全国 31.1%, でした。気になるのが、19.2% (約 14名) の児童が、「学校は楽しくない」と答えていることです。このことは、学校としても深く受け止め、児童が「学校が楽しい」と思うような学校づくりを目指していききたいと思います。学校生活の大半は授業であることを考えると、子どもたちが意欲・関心をもって、「楽しい」「おもしろい」と実感できる授業づくりに取り組んでいきたいと思っています

※ このような課題については、学校としてもしっかりと取り組んでいきたいと思っています。そのためにも、今まで以上に学校と家庭が協力していく必要があります。また、さらなる学力の向上をめざしていくためにも、今まで以上のご支援・ご協力をお願いいたします。

●国語の結果から

◆漢字を読むでは、「快晴」を「かいせい」と正しく書いている。本校70.8%，県79.7%，全国79.3%でした。「貯金」を「ちょきん」と書いている。本校100%，県98.6%，全国98.5%でした。「省く」を「はぶく」と書いている。本校73.6%，県77.9%，全国81%でした。普段使ったり目にしたり聞いたりしている漢字は読めるが，そうでない漢字に弱いことが伺えます。各学年で習う漢字は，最低読めるように指導していきたいと思います。

◇漢字を書くでは，「種」と正しく書いている。本校93.1%，県88.1%，全国87.5%，「親しい」は，本校83.3%，県71.5%，全国73.8%，「相談」は，本校77.8%，県61.7%，全国64.2%，でした。漢字を書くことは県・全国よりも高いという結果でしたが，今後も習った漢字が書けるように，普段から漢字を使うよう指導していきたいと思います。また，漢字に興味を持って自主学習できるように工夫していきたいと思います。

◇ローマ字を書くでは，「りんご」を「ringo」と書いている。本校77.8%，県52.9%，全国53.2%，「あさって」を「asatte」と書いている。本校44.4%，県38.5%，全国41.8%，「ひゃく」を「hyaku」と書いている。本校56.9%，県48.6%，全国50.7%，でした。ローマ字については県・全国よりも正答率が高いという結果でした。それぞれの学年でつけていかなければならない基礎・基本を今後も着実につけて行けるよう指導していきたいと思います。

◆国語A問題では，どの設問においても正答率が県・全国平均よりも高かったです。今後も各学年でつけなければならない基礎・基本をしっかりとつけていきたいと思います。

◆国語B問題では，問題を読み理解し的確に答えることができる児童が多かったように思います。概ね，どの設問も県・全国平均よりも高かったです。宿題や補習の時間・長期休業中に過去の問題に取り組んだことによって，長文を読んでどう答えればいいのか分かってきたのではないかと思います。また，問題に慣れてきたことが挙げられると思います。今後も，工夫しながら過去問への取り組みを行っていききたいと思います。

<対策>

- ・資料，本，新聞，ニュース，講演など筋道だった文字・言葉に触れる機会を増やしていきたいと思います。
- ・要旨を明確に持ち，筋道を大切に話したり書いたりできるようにしていきたいと思います。（日記，短作文，振り返り）
- ・発言や発表への抵抗をなくし，自信を持てるようにしていきたいと思います。
- ・国語の授業改革に力を入れ，それぞれの学年で身につけなければならない基礎・基本を定着させるようにしていきたいと思います。

●算数の結果から

◆ $2.1 \div 0.7$ を，除数が整数になるよう工夫して計算するとき，ふさわしい数値の組み合わせを書く問題の正答率，本校51.4%，県68.1%，全国68.5%でした。正解は「21」と「3」ですが，「3」を「0.3」と答えた児童が多かったです。

◆少数の除法の結果を，乗法を用いて確かめるとき，当てはまる数値の組み合わせを書く問題の正答率，本校86.1%，県88.6%，全国87.9%でした。小数の計算でつまずきがあるように思います。今後，少数の学習時に児童がしっかり理解できるようにして行きたいと思います。

◆ $18 \div 0.9$ を計算する問題の正答率，本校70.8%，県77.5%，全国77.7%，でした。正解「20」を「2」「0.2」と答える児童や，問題からかけ離れた答えを書いている児童が県・全国平均よりも多かったです。全員が小数の計算が理解できるように，各学年において指導を強化していきたいと思います。

◆ 8 m^2 に14人が座ってるシートについて， 1 m^2 当たりの人数を求める式を書く問題の正答率，

本校 66.7%, 県 72.3%, 全国 72%でした。正解「 $14 \div 8$ 」を「 $8 \div 14$ 」と誤って答えている児童が、23.6%と県・全国より8%も多くいました。また、定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く問題の正答率、本校 48.6%, 県 53.3%, 全国 50.9%でした。割合の問題が弱いことが分かったので、今後すべての児童が理解できるようにしっかり指導していききたいと思います。

◆算数A問題では、上記の問題以外は概ね県・全国よりも正答率が高い結果でした。小数や分数、割合といった学習に力を入れていききたいと思います。

◆算数B問題では、概ね、どの設問も県・全国平均よりも高かったです。宿題や補習の時間・長期休業中に過去の問題に取り組んだことによって、自分の考えを説明することに慣れてきたと考えます。また、算数のコース別（習熟度コース）の取り組みによって、授業の中で自分の考えを説明したり、書いたりする機会が確保されていることが要因となっていると考えます。今後も、コースの特徴を生かした算数の指導に力を入れていききたいと思います。

<対策>

- ・計算や知識の定着は大体認められ、計算・図形・数量問題に対しては概ね対応できているので、もっと難題と出会わせたり、今まで学習してきたことをいくつか組み合わせて解くような問題に出会わせたりして、さらに活用力をつけていききたいと思います。
- ・『小数』『分数』『割合』の学習を丁寧に取扱い、自信を持って問題に向き合えるようにしていきたいと思います。
- ・いろいろな視点からの見方や考え方を認め、その中で幅広く柔軟な思考力を養うような授業づくりに取り組んでいききたいと思います。
- ・学習したことを活用することに意識を持って、授業改革を行っていききたいと思います。

●学校質問紙の結果から

・話し合い活動等の中で、自分の考えを相手に伝えることは出来ていますが、相手の立場に立って相手の話を最後まで聞くことが弱いように思います。

・補充学習等放課後や長期休業中に行っていますが、宿題忘れが依然としてある現状があります。今後も家庭との連携を取っていく必要があると考えます。

・学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始チャイムを守る）の徹底を図っています。児童は高学年としての自覚も芽生え、落ち着いて学習しています。

・コンピューター等の情報通信技術を活用した授業を進めているところです、さらに研修をおこない子どもたちの学習意欲を引き出せるようにしていきたいと思います。

・地域の人材を外部講師として招聘した授業は行ってはきましたが、今後もっと地域の人材を生かした授業を行っていききたいと思います。また、補充学習の時に地域の方にお手伝いしていただけるよう考えていききたいと思います。

6年生は、昨年4月から宿題や補習の時間・長期休業中に過去の問題に取り組んでできました。これは、問題に慣れること、解き方が分かること、無回答をなくすことを目標に行いました。一人ひとりが、今回の学力調査に最後まで諦めず粘り強く問題と向き合ったことが、結果につながったと思います。

今回の学力調査の結果を受け止め、さらに子どもたちに確かな学力をつけられるよう、授業改革をはじめ算数科のコース別授業（習熟度）、国語科の研修に取り組んでいきたいと思っています。また、子どもたちが学ぶことの楽しさを実感できる授業づくりに取り組んでいきたいと思っています。

児童質問の結果を受け、テレビやゲームの時間や携帯電話やスマートフォンの使用について、家庭学習の時間等については、学校と家庭が協力して取り組んでいく必要があります。今まで以上のご支援、ご協力をお願いいたします。